

システムを開発した企業の担当者(左)から説明を受ける参加者ら(印西市瀬戸で)



踏み間違い事故防ぐ車

成田署 高齢者向け試乗会

成田署は高齢者を対象に、急加速を防止するシステムを搭載した自動車の試乗会を、自動車教習所「北総自動車学校」(印西市瀬戸)で開いた。

県警によると、県内では昨年、ブレーキとアクセルの踏み間違いによる人身事故が165件と前年より14件増え、3人の命が犠牲になった。2019年から5年間では、踏み間違いによる死亡事故のうち、約9割

が65歳以上の高齢ドライバーによるものだったという。試乗会には60〜74歳の約20人が参加した。ブレーキと間違っってアクセルを踏み込んで、車のクリープ現象に似た遅い速度でしか進まないシステムを搭載した車に乗車。あえて急発進させた場合と、システムが作動した場合を体験して比べた。交通安全教室では、署員から正しい乗車姿勢や死亡の見え方などを学んだ。参加した成田市の小田富雄さん(72)は、駐車場でブレーキとアクセルを踏み間違え、止まっていた車に追突した経験がある。今でも買い物などで車を利用しており、「このシステムは今後の運転に有効」と話した。鳥山昭一署長は「踏み間違いなどによる事故は誰にでも起き得る。慢心せず、意識した上で快適なカーライフを」と呼びかけた。